



TREND-POINT ⇔ CIMPHONY Plus連携

TREND-POINTとCIMPHONY Plus間でデータをアップロード/ダウンロードする操作を説明します。

※はじめての方は、まず「かんたん操作手順書」をお読みいただくことをおすすめします。

※ [現場情報] の [3Dを利用する] がオンになっている現場が対象です。

[3Dを利用する] は契約プランが「Professional」の場合に表示されます。

※ CIMPHONY Plus連携ツールは2024/3/19版で解説しています。最新版のインストールはFCアカウントの [プログラムの更新] から行ってください。

目次

1. CIMPHONY Plusへアップロード	1
1-1 点群データをアップロードする	1
1-2 検査データをアップロードする	9
2. CIMPHONY Plusからダウンロード	14
2-1 点群データをダウンロードする	14
2. 注意事項	17
3-1 現場が表示されない場合	17
3-2 プロキシサーバー環境の場合	20

1

CIMPHONY Plus へアップロード

TREND-POINTの点群や検査データをCIMPHONY Plusへアップロードする操作を説明します。

※アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

(「参照者」のユーザーはアップロードできません。)

1-1 点群データをアップロードする

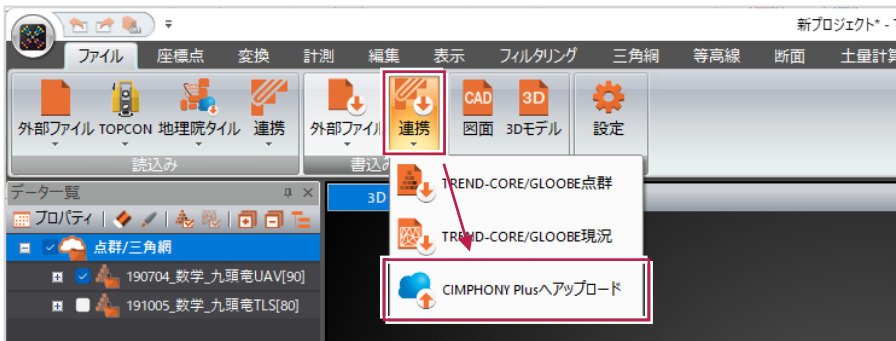
点群データをCIMPHONY Plusへアップロードします。

■ コマンドの場所

アップロードするコマンドは、TREND-POINTの以下の場所にあります。

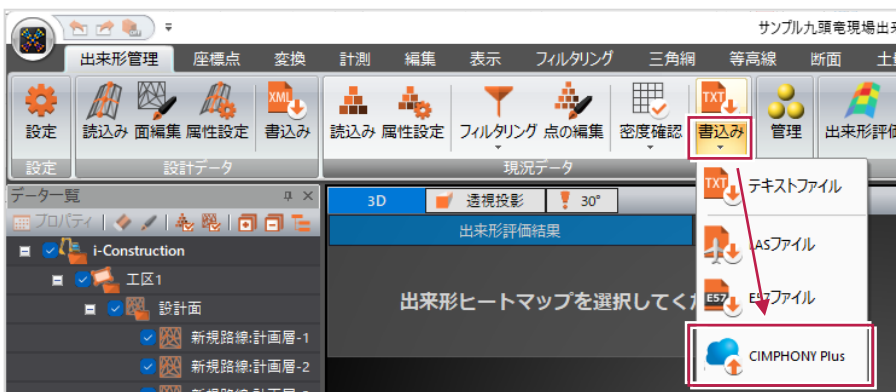
● 通常プロジェクトの場合

[ファイル] タブ - [書込み] グループ - [連携] - [CIMPHONY Plusへアップロード]



● 出来形プロジェクトの場合

[出来形管理] タブ - [現況データ] グループ - [書込み] - [CIMPHONY Plus]



■ アップロード手順

ここでは、通常プロジェクトで点群をアップロードする操作を説明します。

※アップロード可能なファイルサイズは10GBまでです。

10GBを超える場合は、フィルタリング等で点群のサイズを小さくしてください。

- 1 データ一覧でアップロードする点群をオンにします。

表示中の点群が1つの点群としてCIMPHONY Plusにアップロードされます。非表示の点群はアップロードされません。

- 2 CIMPHONY Plusへアップロードコマンドをクリックします。



- 3 アップロードする点群のファイル形式を選択します。



- 4 [確定] をクリックします。

- 5 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

《補足》3-2.プロキシサーバー環境の場合

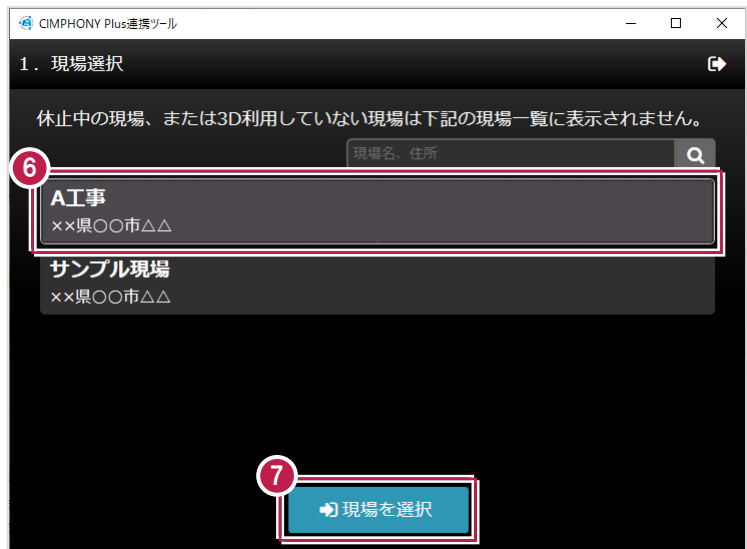


6 現場を選択します。

《補足》3-1.現場が表示されない
場合

7 [現場を選択] をクリックします。

※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。

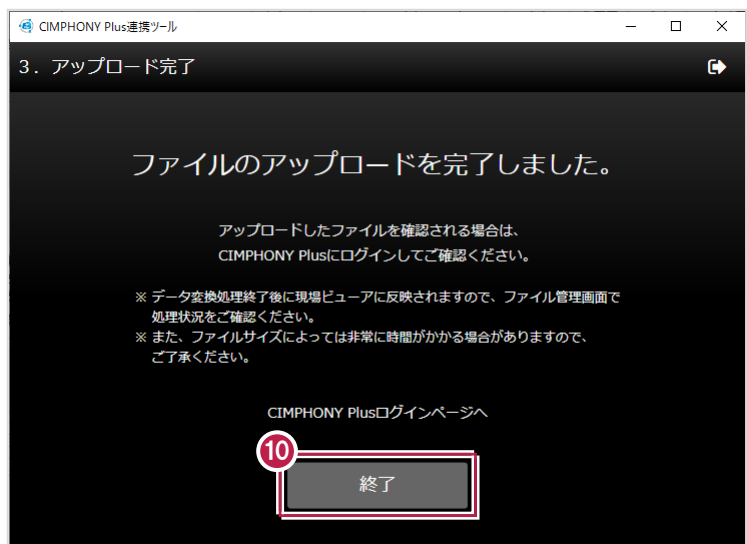


8 アップロードするファイルの [ファイル名] [測量日時] などを設定します。

9 [アップロード] をクリックします。



10 [終了] をクリックします。
データが転送されます。



点群データのアップロード設定について



【新規アップロード】：新規ファイルをアップロードする場合に選択します。

【既存ファイルを差し替える】：既存のファイルを差し替える場合に選択します。

【ファイル名】：ファイル名が自動で入力されます。

ファイル名を変更したい場合は、入力し直してください。

※登録済みの他のファイルと同じ名称で新規アップロードすることはできません。

※以下の文字は使用できません。

¥/:*?"<>|

【測量日時】：[測量日時]には点群データの[計測日時]が自動で設定されます。

(工期外の場合は、工期開始日または工期終了日が自動で設定されます。)

測量日時を変更したい場合は、設定し直してください。

【座標系】：座標系が表示されます。

【進捗計算】：進捗計算に使用する場合は[使用する]をオンにします。

[現場ビューア]の[表示する]は自動でオンになります。

【現場ビューア】：現場ビューアに表示する場合は[表示する]をオンにします。

[進捗計算]がオフの時に設定できます。

【表示期間】：現場ビューアに表示する期間を設定します。

[進捗計算]がオフの時に設定できます。

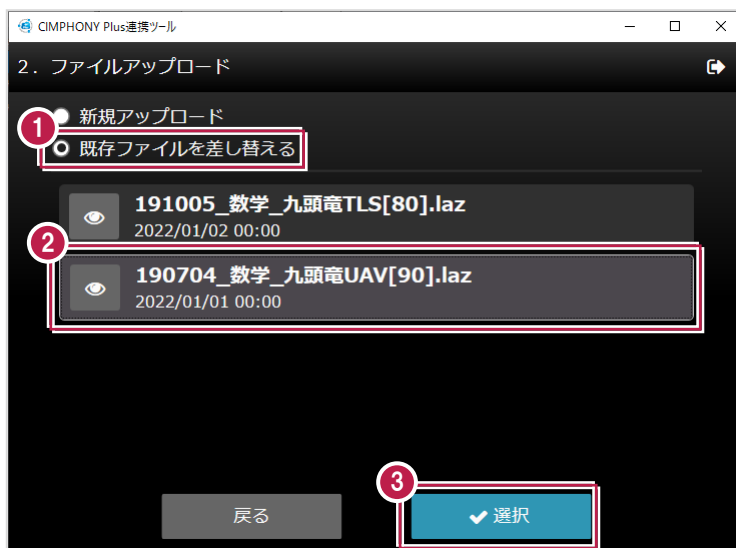
開始日、終了日が設定されていない場合は、測量日時以降は常に表示されます。

([現場ビューア]がオフの場合は非表示)

(次ページへ続きます)

■ 既存ファイルを差し替える手順

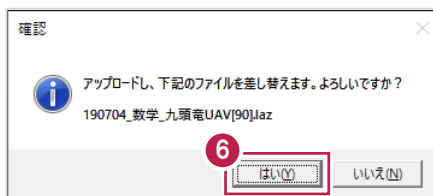
- 1 [既存ファイルを差し替える] を選択します。
- 2 差し替えるファイルを選択します。
- 3 [選択] をクリックします。



- 4 [ファイル名] [測量日時]などを設定します。
- 5 [アップロード] をクリックします。

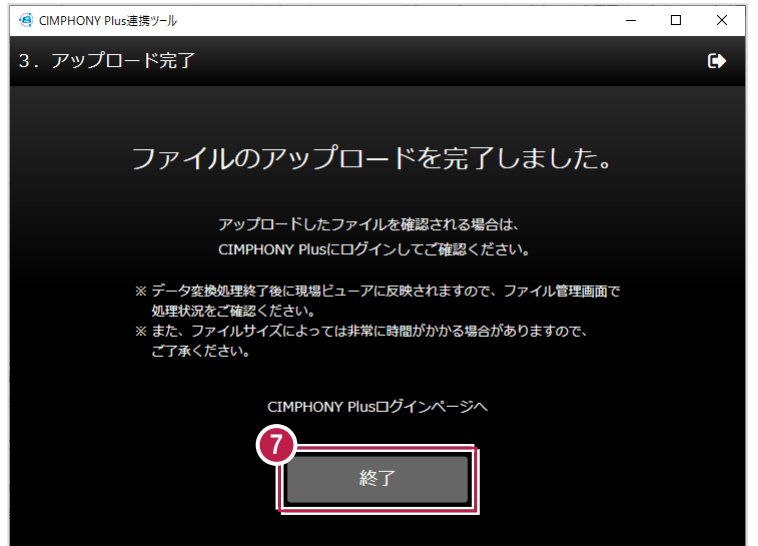


- 6 [はい] をクリックします。



(次ページへ続きます)

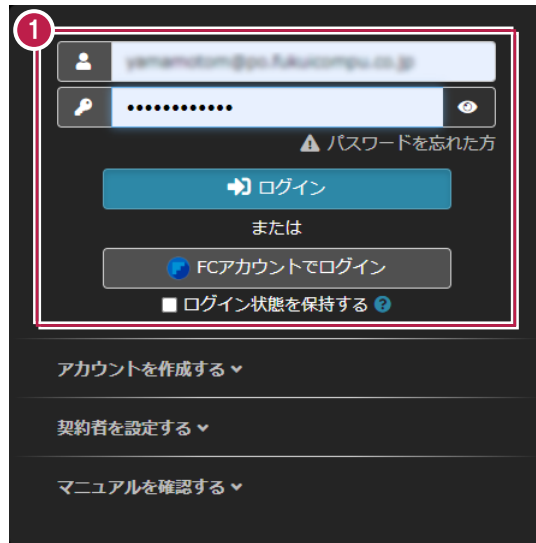
7 [終了] をクリックします。



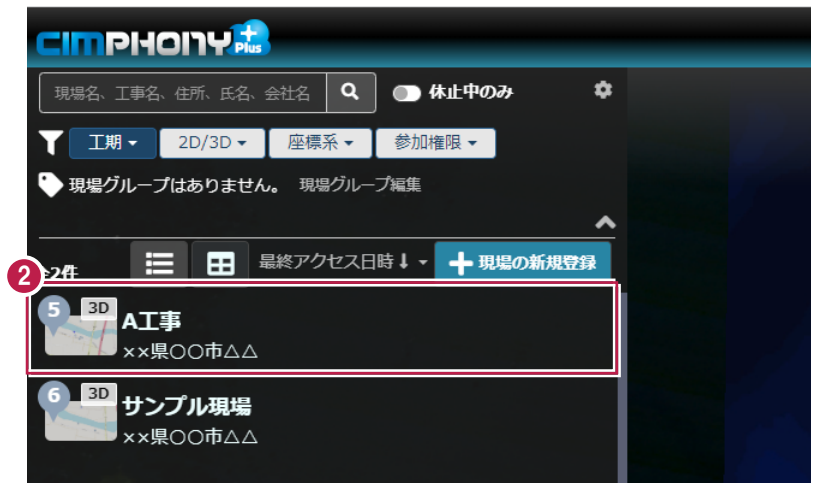
■ CIMPHONY Plus で点群データを確認する

アップロードした点群データをCIMPHONY Plusで確認します。

- 1 WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインします。



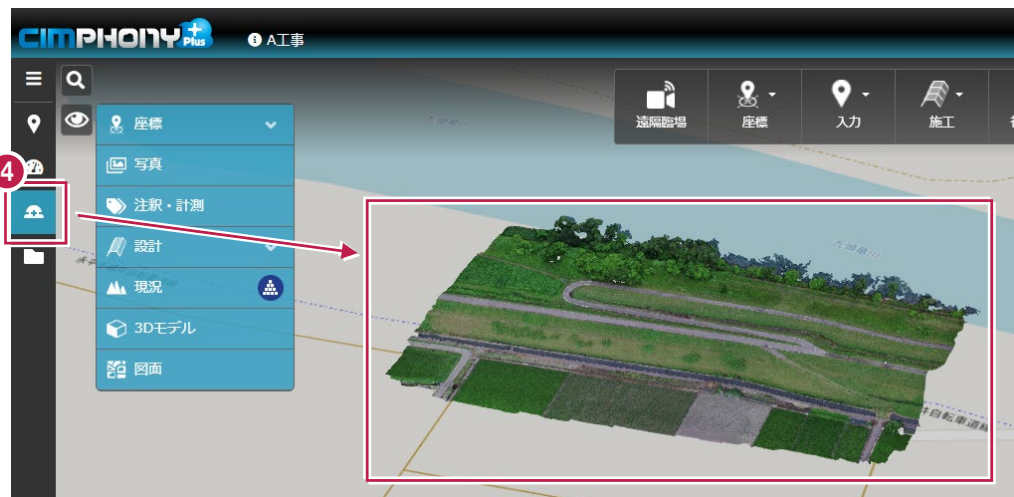
- 2 点群データをアップロードした現場を選択します。



- 3 [現場に入る] をクリックします。



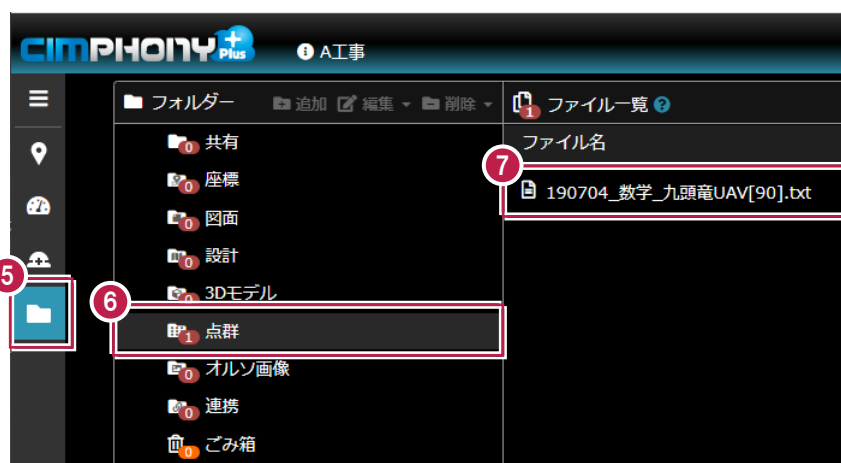
- 4 [現場ビューア] をクリックして、アップロードした点群データを確認します。



- 5 [ファイル管理] をクリックします。

- 6 [点群] フォルダーを選択します。

- 7 点群データが登録されていることを確認します。



補足

現場ビューアに点群データが表示されない場合

点群データは、「データ変換」と「進捗計算」が「完了」した後に現場ビューアに反映されます。

各処理の状況は [ファイル管理] で確認できます。

処理の状況の表示は自動更新されません。

[更新] をクリックして表示を更新してください。

※ファイルサイズによっては各処理に時間がかかる場合があります。



1-2 検査データをアップロードする

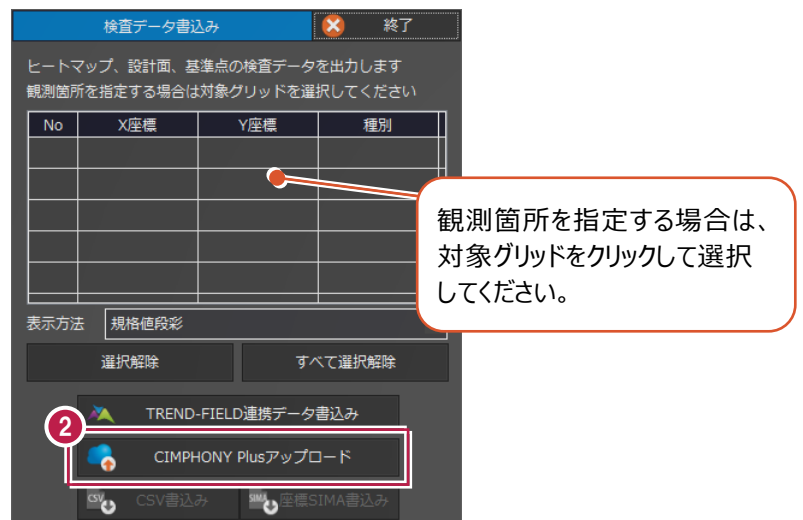
検査データをCIMPHONY Plusへアップロードします。

※設計データ、ヒートマップ情報、基準点（標定点、工事基準点）、観測指定点が転送されます。

- 1 [出来形管理] タブ - [検査] グループ - [書込み] をクリックします。



- 2 [CIMPHONY Plus アップロード] をクリックします。



- 3 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

《補足》3-2.プロキシサーバー環境の場合

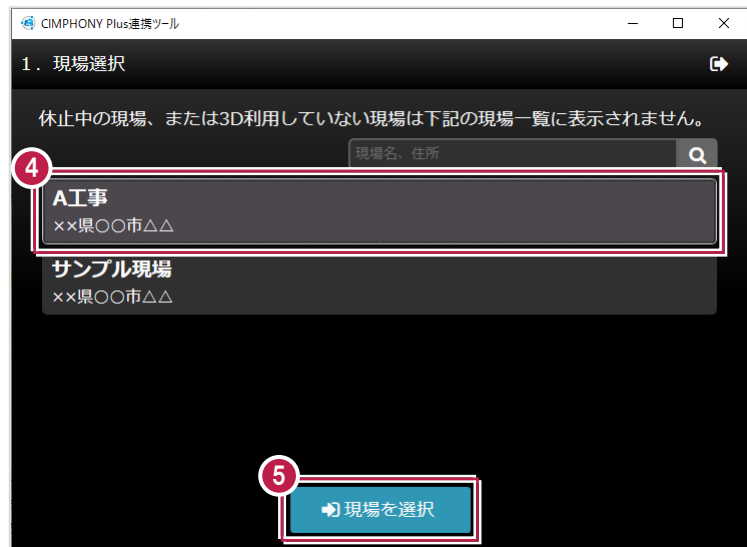


4 現場を選択します。

《補足》3-1.現場が表示されない
場合

5 [現場を選択] をクリックします。

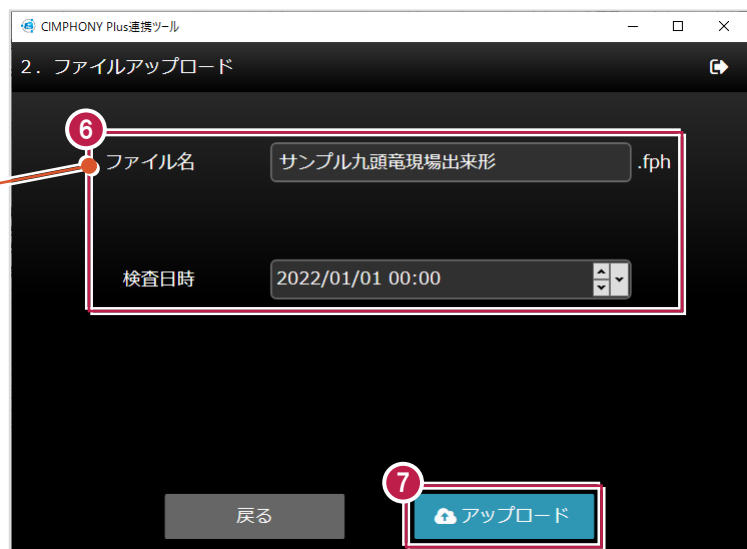
※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。



6 アップロードするファイルの [ファイル名] [検査日時] を設定します。

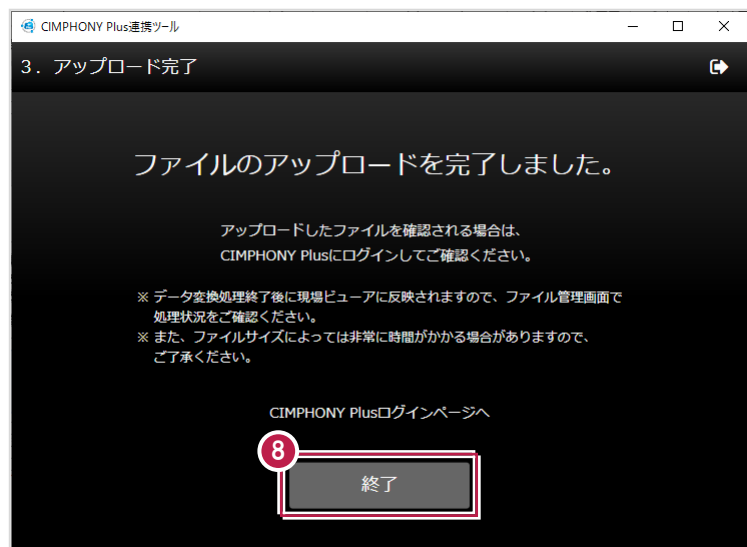
- ・登録済みの他のファイルと同じ名称でアップロードすることはできません。
- ・以下の文字は使用できません。
¥/:*?"<>|

7 [アップロード] をクリックします。



8 [終了] をクリックします。

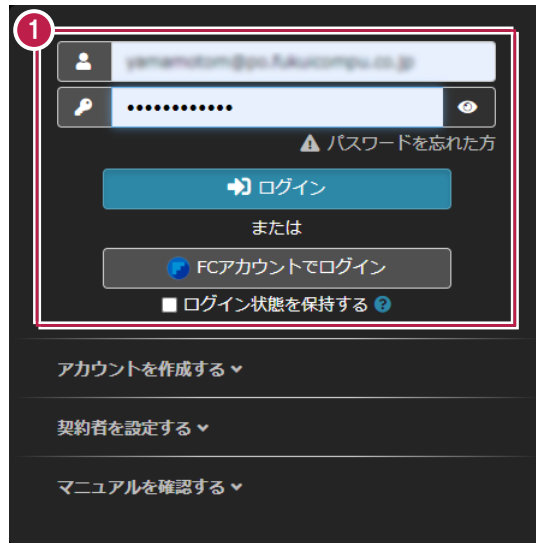
データが転送されます。



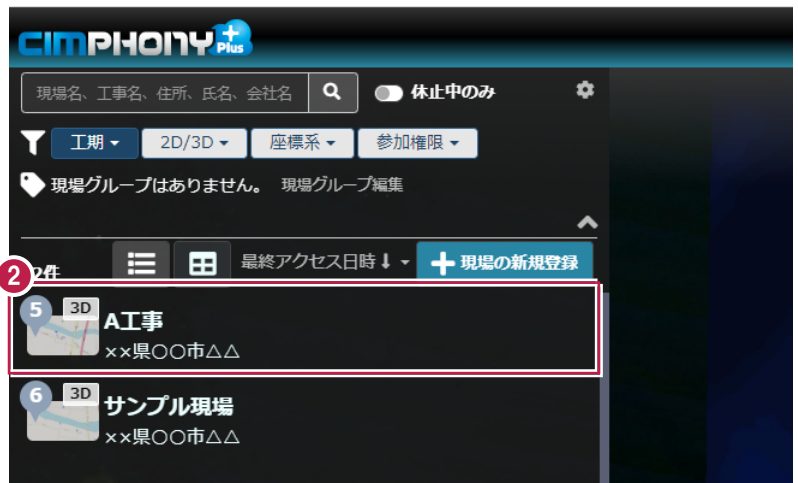
■ CIMPHONY Plus で検査データを確認する

アップロードした検査データをCIMPHONY Plusで確認します。

- 1 WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインします。



- 2 検査データをアップロードした現場を選択します。



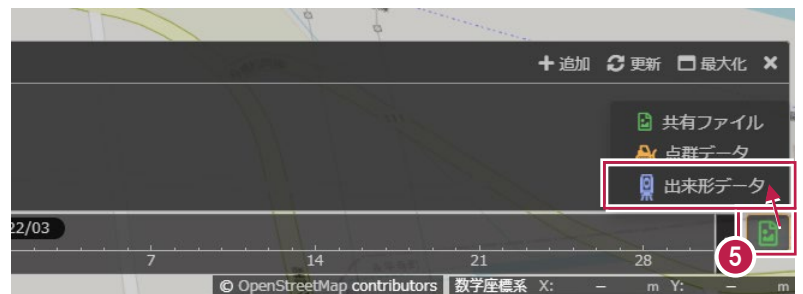
- 3 [現場に入る] をクリックします。



- 4 [現場ビューア] をクリックします。



- 5 タイムライン右側のファイル種別切り替えボタンで [出来形データ] を選択します。
現場ビューアが検査データの画面に切り替わります。

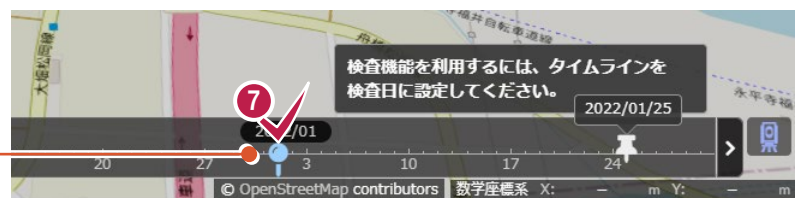


- 6 画面左上の [表示切替] で [検査] をクリックします。

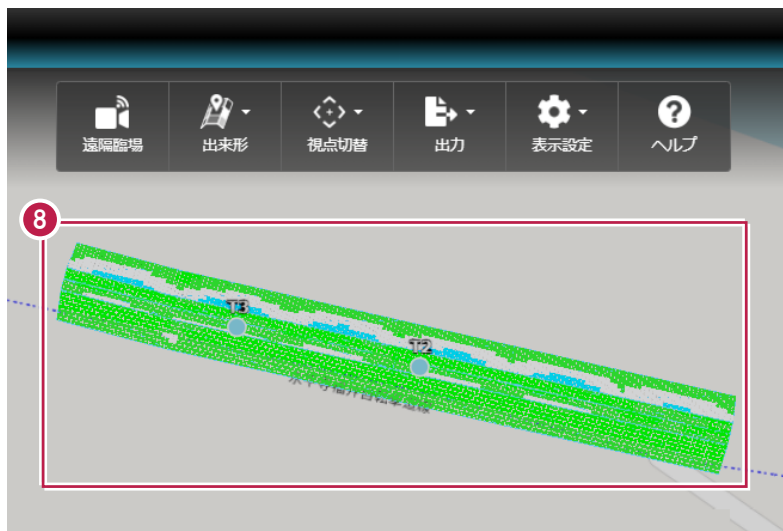


- 7 タイムラインで、水色のピンをクリックします。

アップロード時に設定した [検査日時] に水色のピンが表示されます。



8 アップロードした検査データを確認します。



9 [ファイル管理] をクリックします。

10 [連携] -
[TREND-POINT] -
[出来形ヒートマップ] フォルダ
を選択します。

11 検査データが登録されていることを
確認します。



補足

現場ビューアに検査データが表示されない場合

検査データは、「処理状況」が「完了」した後に現場ビューアに反映されます。

各処理の状況は [ファイル管理] で確認できます。

処理の状況の表示は自動更新されません。

[更新] をクリックして表示を更新してください。

※ファイルサイズによっては各処理に時間がかかる場合があります。



2

CIMPHONY Plus からダウンロード

CIMPHONY Plusから点群データをダウンロードする操作を説明します。

※ダウンロードは全ユーザー（「所有者」「作成者」「参照者」）が可能です。

2-1 点群データをダウンロードする

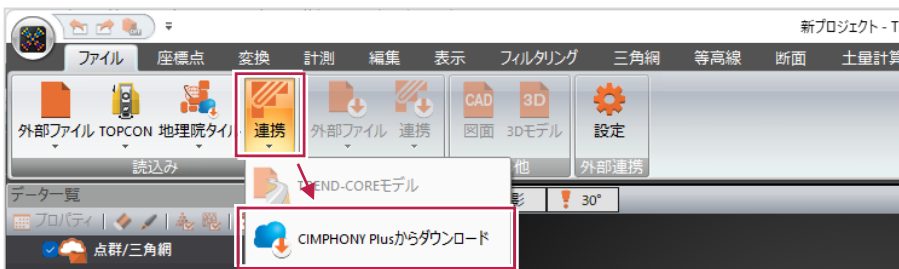
CIMPHONY Plusから点群データをダウンロードします。

■ コマンドの場所

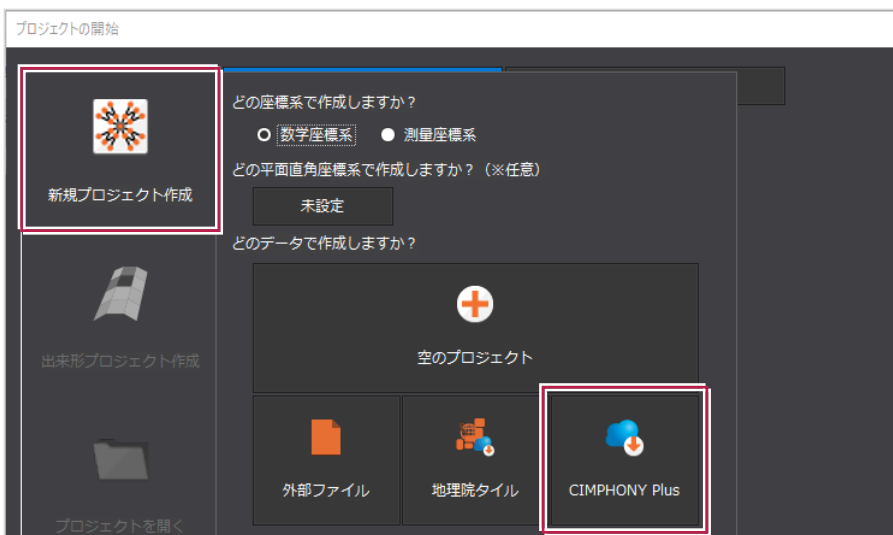
ダウンロードするコマンドは、TREND-POINTの以下の場所にあります。

● 通常プロジェクトの場合

[ファイル] タブ - [読み込み] グループ - [連携] - [CIMPHONY Plusからダウンロード]



新規プロジェクト作成時に表示されるダイアログ



● 出来形プロジェクトの場合

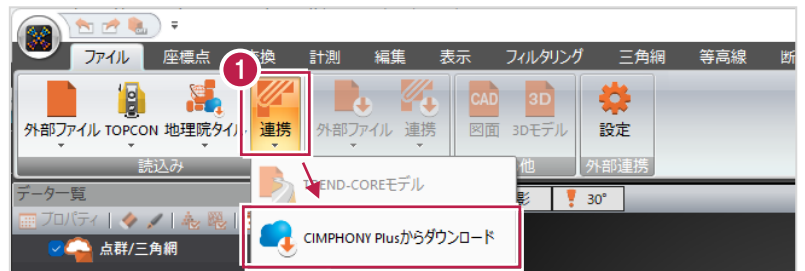
[ファイル] タブ - [現況データ] グループ - [読み込み] 内



■ ダウンロード手順

ここでは、通常プロジェクトで点群をダウンロードする操作を説明します。

- 1 CIMPHONY Plus からダウンロードコマンドをクリックします。



- 2 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。
※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

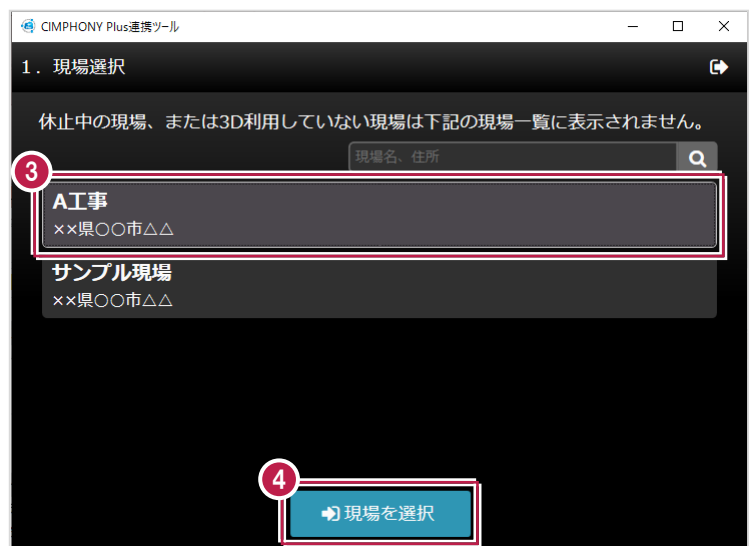
《補足》3-2.プロキシサーバー
環境の場合



- 3 現場を選択します。

《補足》3-1.現場が表示されない
場合

- 4 [現場を選択] をクリックします。
※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。

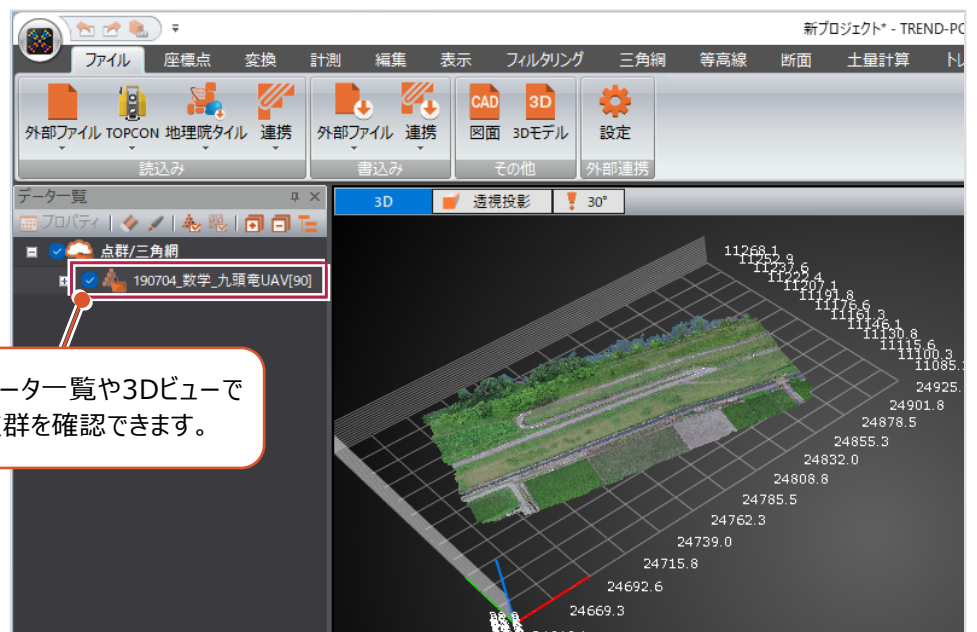
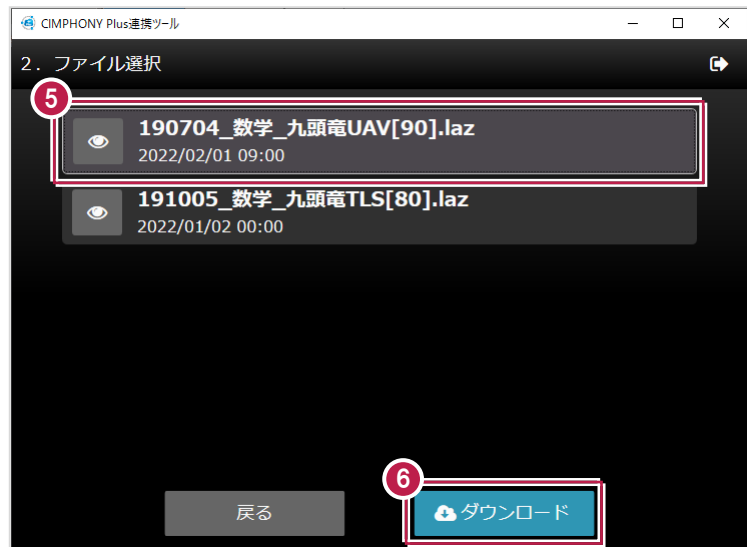


5 ファイルを選択します。

6 [ダウンロード] をクリックします。

点群データが読み込まれます。

※ファイルが txt 形式の場合は、
点群テキストファイルのフォーマット確認
ダイアログが表示されます。



3

注意事項

CIMPHONY Plus連携についての注意事項を説明します。

3-1 現場が表示されない場合

アップロード/ダウンロード時に使用したい現場が表示されない場合は、以下を確認してください。

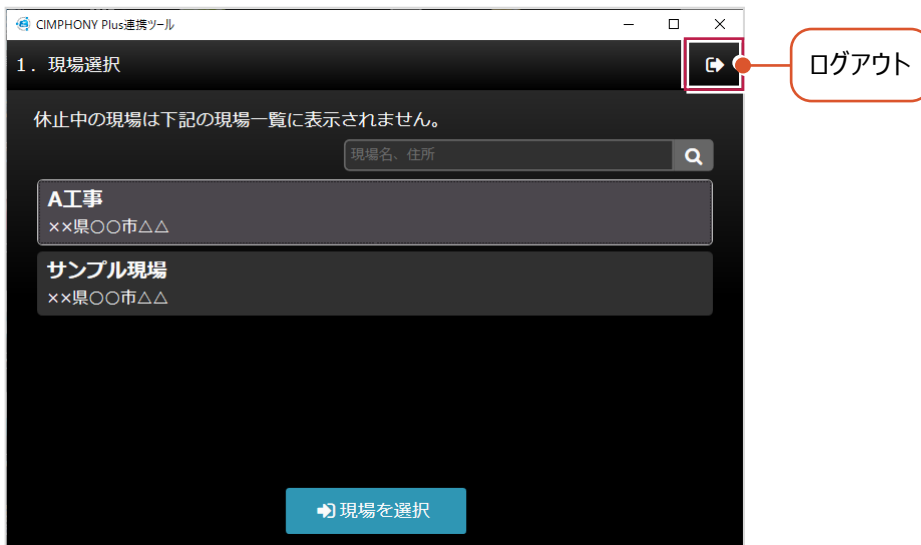


■ アップロード/ダウンロード共通

● ログインしているユーザーは、現場に招待されたユーザーですか？

現場に招待されていないユーザーの場合、現場一覧に表示されません。

「CIMPHONY Plus連携ツール」に自動ログインしている場合は、別のユーザーでログインしている可能性があります。一度ログアウトして、正しいユーザーで再ログインしてください。



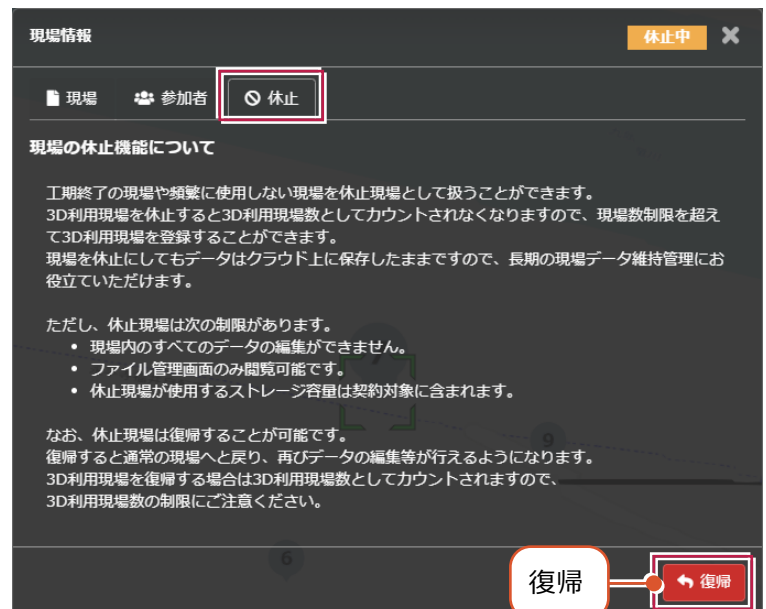
●現場は「3Dを利用する」に設定されていますか？

[3Dを利用する] がオフの現場では、3Dデータを扱うことができません。
WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインして、「現場情報」で [3Dを利用する] を確認してください。
オフの場合は、[編集] で [3Dを利用する] をオンに変更してください。
([編集] は「所有者」ユーザーのみ可能)



●「休止中」の現場ではありませんか？

現場一覧に表示されるのは「工期前」「工期中」「終了」の現場のみです。
WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインし、[休止中のみ] をオンにして確認してください。
必要であれば「現場情報」の [休止] タブで現場を復帰してください。
([復帰] は「所有者」のユーザーのみ可能)



■ アップロード時のみ

● ログインしているユーザーは「参照者」ではありませんか？

アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

「参照者」のユーザーはアップロードできません。

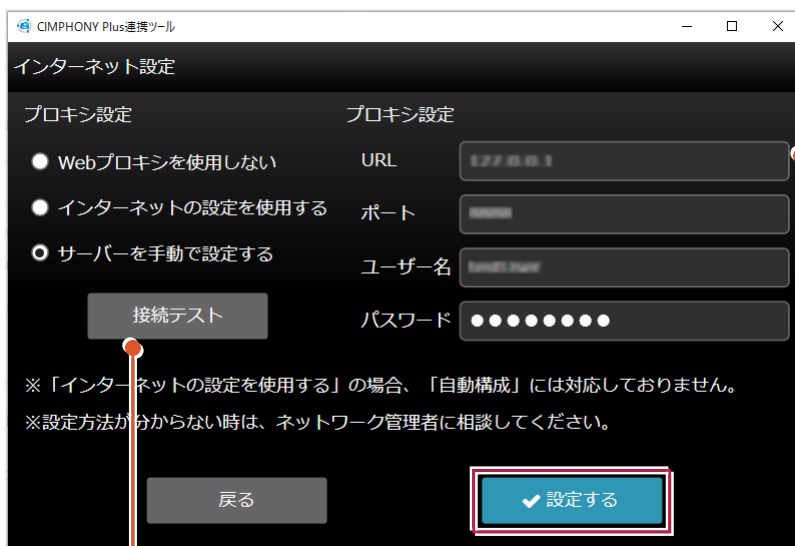
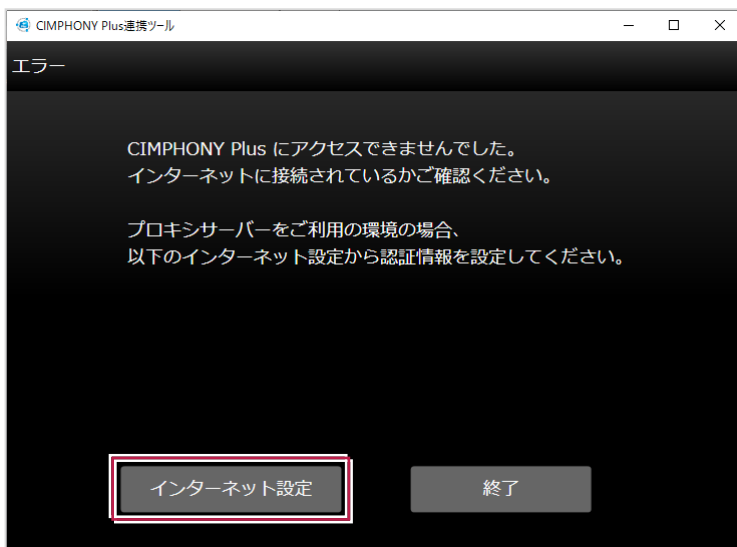
WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインして、「現場情報」の「参加者」タブで「権限」を確認してください。
必要であれば「所有者」のユーザーに、権限の変更を依頼してください。

氏名	会社名	権限
FC 管理者	福井コンピュータ株式会社	所有者
社員A	福井コンピュータスマート (株)	所有者
社員B	福井コンピュータ (株)	作成者
社員C	福井コンピュータアーキテクト (株)	参照者

※ダウンロードは、招待されている全ユーザー（「所有者」「作成者」「参照者」）が可能です。

3-2 プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



[サーバーを手動で設定する] を選択した場合は、認証情報を入力してください。

[接続テスト] をクリックすると、接続可能か確認できます。

